

【1ページ目】

これから発表を始めます。

私たち第4グループは、「相談しやすい環境」について話し合いました。

現在、私たちの学校にはスクールカウンセラーというものがあります。しかし、実際学校の人たちはスクールカウンセラーを正しく利用できているのでしょうか？ それ以前に、スクールカウンセラーの存在を知っているのでしょうか？ そのような問題に対して、私たちは具体的な提案をします。

【2ページ目】

まず現状の問題として、「相談が口頭でしかできず、話すのが苦手な人が利用しにくい」「相談場所が限られていて、相談したい時に相談できない」といったように、相談する手段という面で様々な課題が挙げられています。

つまり、学校によって相談しやすい環境にするための手段が整っているかどうかの差が大きいので、すべての学校の問題を改善するための大規模な対策が必要です。

【3ページ目】

相談方法が少ないと、相談したくてもできない人が増えてしまいます。そこで、「気軽に相談したい」「生徒目線の意見も聞きたい」という声に応えるべく、今よりも相談できる手段を増やしてほしいです。

【4ページ目】

また、学校によってスクールカウンセラーの予約方法が知られていない、など相談環境整っていないの差が出てきてしまっています。そのため、各校が行っている相談環境を整えるための取り組みを定期的に区のページに上げるなど、区で共有できるようにしていきたいです。

【5ページ目】

このように、私達は

- ・各学校の取り組みを区のページに載せてもらう
- ・口頭以外の手段も作る
- ・スクールカウンセラーのことを、区の生徒皆に伝える
- ・相談アンケートの実施
- ・生徒同士で相談できる環境を作る

などの方法で相談できる手段を増やし、区で共有できるようにしたいと考えています。

【6ページ目】

最後にまとめです。

私たちの学校では、「スクールカウンセラーは予約が必要である」

「1対1の会話が苦手な相談しにくい」などの問題点が挙げられました。

このように私たちの学校は現状、学校によっての相談環境の差が大きく、相談方法が充実していない状態です。

それを解決するためにも、「区のページなどに相談環境についての各学校の取り組みを載せてもらう」「交換日記や目安箱(意見箱)などを利用した、口頭以外の相談も可能にする」など、相談できる手段を増やし、区全体で共有できるようにする、ということを提案したいと思います。

以上で、第4グループ「相談しやすい環境」の発表を終わります。ありがとうございました。